

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【浅海小学校】

<全学年：海と友達になろう>

1・2年生の生活科では、「シーグラス・貝殻集め」「生き物探し」「砂浜遊び」の活動を行った。3～6年生は、総合的な学習の時間に、各児童の興味・関心をもとに3つのグループを編成し、課題追究活動を行った。「ものづくりグループ」は、集めたシーグラスや貝殻を使ってランプシェードなどの生活に生かせる物を作った。「釣りグループ」は、浅海の海で釣れる魚や釣りの餌・仕掛けなどを調べた上で、釣りに挑戦した。昨年度、購入した観察箱を使って、釣れた魚を横から観察し、色や形などについて話し合った。「生き物調査・塩づくりグループ」は、塩の作り方をまとめ、海水を煮詰めて塩を作る活動をした。また、海岸で生き物を採取し、名前や特徴を調べて写真記録も行った。各グループで活動をまとめ、全校で発表会を行った。グループごとに自分たちの活動の様子や活動して分かったことなどを、「ロイロノート」などのICTを積極的に活用して発表した。活動の終わりには、地域の方々にも協力していただきながら海岸清掃を行った。

学習活動を通して、浅海の海の恵みを感じ、海を守りたいという思いを強くもった。また、地域の方の協力を得ながら清掃活動を体験することで、地域の方々と一緒に地域を守っているという気持ちも育み、正しくごみを分別することの大切さも再確認した。また、海には、川から多くの水が流れ込むことを知り、海を守るためには、森林や周りの自然を大切にすることが大切であることも話し合うことができた。

<全学年：わたしたちにできること>

3～4年生は総合的な学習の時間で、1・2年生は学級活動で公民館で実施している「水曜どうでしょう？」に参加し、地域の高齢者との交流活動を行った。活動の初めには高齢者になるとどうなるのかを社会福祉協議会の方に指導していただいた。歌の発表やプレゼントを児童が高齢者に渡したり、お金を計算するゲームをしたりすることを通して、地域に住む高齢者と親睦を深めることができた。児童は、活動後、「今度地域で会ったら話が見たいな。」と、書いてあるなど、地域の高齢者への思いやりの気持ちが高まり、今後の自分について考えることができた。

